

メタン（可燃性ガス 無色・無臭）

分子式	CH_4	分子量	16	容器の色	ねずみ色
用途	燃料、化学工業原料、鉱産物の還元剤 等				
該当法規	高圧ガス保安法、労働安全衛生法、船舶安全法、航空法、港則法				
物理的性質	<p>可燃性の無色・無臭のガス、家庭用、工業用等は着臭してある。</p> <p>比重：0.56</p> <p>沸点：-161.5</p> <p>爆発範囲：5.3～14%</p> <p>着火温度：537</p>				
化学的性質	<p>パラフィン系炭素水素のうち、最も化学的に安定である。</p> <p>有機溶剤に可溶</p> <p>480 では安定であるが、700 以上ではエチレンやアセチレンに解質される。また、1000 の金属管中では炭素と水素に分解する。</p>				
注意事項	<p>使用済みの容器は、圧力を残した状態で、容器弁を閉め、出口キャップを締め込み、保護キャップを取り付ける。</p> <p>ガスを容器から取り出す場合は、必ず減圧弁を用いる。</p> <p>ガスによる爆発を防止するため、周囲に着火源がないことを確認する。支燃性物質との混合を避ける。</p> <p>静電気対策を行い、作業衣・作業靴は導電性のものを用いる。</p> <p>充填容器、残ガス容器のいずれであっても貯蔵所に保管する。貯蔵所の周囲には火気、引火性、発火物質を置かない。</p> <p>強力な酸化剤（酸素、ハロゲン等）や可燃物と一緒に置かない。</p> <p>容器は40 以下の温度に保ち直射日光の当たらない換気良好な乾燥した場所に保管し、容器はローブ又は鎖等で、転倒を防止、保管する。</p>				

メタン（可燃性ガス 無色・無臭）

事故時の措置

消火方法	粉末消火器、 炭酸ガス消火器、水	処理剤	消石灰
漏えいした とき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>漏えいを発見したら、先ず部外者を安全な場所に避難させ、汚染空気を緊急排気し新鮮な空気と置換する。</p> <p>漏えいがおさまるまで部外者が立ち入らないよう監視するとともに納入業者・メーカーに連絡し指示を受ける。</p> <p>散水や水噴霧により拡散させ、着火・爆発を防止する措置を取る。</p> <p>土砂、土のう、防水シート等により、漏えい（流出）液および蒸気の拡散防止をはかる。流出液や洗浄水は消石灰等で中和処理した後、大量の水で洗い流す。</p> <p>119番（消防署）に通報する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での 火災のとき	<p>火災を発見したら、先ず部外者を安全な場所へ避難させる。</p> <p>保護具着用の上、風上より消火作業を行う。ガスの漏えいが直ちに停止できる場合は、散水、水噴霧、消火器で火災を速やかに消火する。散水により容器を冷却する。</p> <p>消火後は直ちに容器弁および口金キャップを静かに増し締めし、ガスの漏えいを停止させる。散水により容器を冷却する。</p> <p>ガスの漏えいを直ちに停止できない場合は、再発火や爆発の恐れが生じるので、火災を消火せずに、散水、水噴霧を続けて鎮火を待つ。</p>		
救急処置	<p>蒸気を吸入した場合は、酸素欠乏により人事不省に陥ったときは新鮮な空気の場所に移し、安静、保温に努め、新鮮な空気を吸わせるか、酸素吸入を行う。</p> <p>呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、速やかに医師の手当てを受ける。</p> <p>液化ガスによる凍傷を受けた場合は、直ちに患部を41～46度の温水等で暖めるとともに、医師の手当てを受ける。</p>		
特記事項 （人体に対する影響）	<p>気体は非常に弱い麻酔作用があり、急速に気化するので、高濃度の気体は空気を排除する。（窒息危険）頭痛、めまい、眠気、意識喪失（酸素不足の場合のみ）。</p> <p>皮膚に触れた場合は、液体と接触すると凍傷にかかり、凍傷にかかった身体部位が白色に変色する。</p>		
緊急通報例 119（消防署）	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「可燃性のメタンガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。(漏れて火災になっています。)」</p> <p> 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		